

第四中学校区 地域協通信

令和7年3月吉日 発行

枚方市立第四中学校区

地域教育協議会

枚方市香里ヶ丘5丁目3番2号

枚方市立第四中学校内 050-7102-9195

「ご挨拶」

日頃より四中地域教育協議会の活動にご理解ご協力を賜り誠に感謝申し上げます。

12月の四中クリーン作戦では多くの皆様のご参加ありがとうございました。生徒と先生方の他にも保護者や小学校の児童、そして地域の方々にも参加していただいて一緒に四中を掃除できた事を嬉しく思っています。好評の豚汁も含めて来年度もクリーン作戦実施する予定です。

3回目となりました四中花火フェスタでは回を重ねるごとに内容が盛大になり、今回は初めてイベントステージを組み立て、吹奏楽部の演奏の他に大相撲の阿武松(おうのみつ)部屋から力士が3人も参加してくれました。そして昨年11月にメジャーデビューを果たした枚方出身のプロ歌手の藤田彩夢さんにもパフォーマンスをしていただきました。先生達のバンド演奏では大変な盛り上がりになりました。この花火フェスタにもっと四中生が参加できるようにしたいと思います。演奏やダンスなどイベントの出演はもちろん、花火フェスタ実行委員会に参加して企画・運営をすることもできますので、興味をお持ちの方がいらっしゃればご協力をよろしくお願い致します。

枚方市立第四中学校地域教育協議会 会長 鈴木 規夫

「思春期の子どもを育てる悩みを共有できる場所」

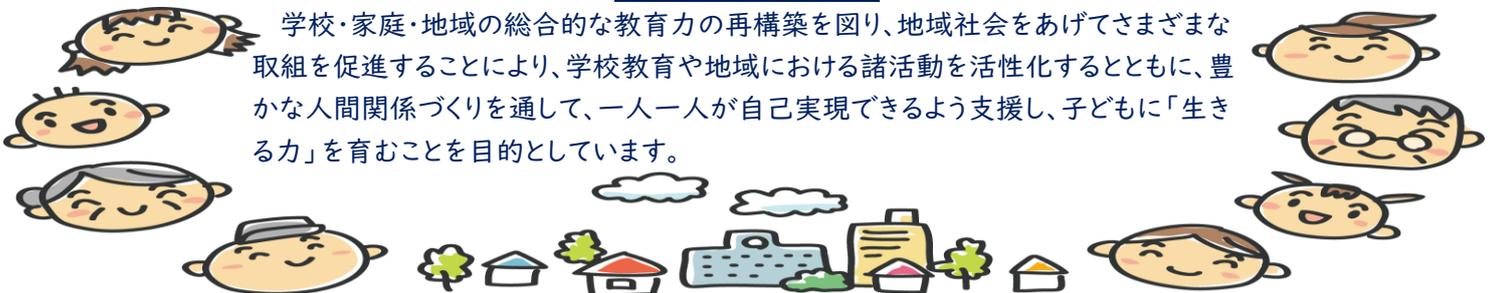
日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。山口県下関市の教育者が提唱したとされる子育て四訓というものがあります。「(一)乳児期は肌身離すな、(二)幼児期は肌を離して手は離すな、(三)少年期は手を離して目は離すな、(四)青年期は目を離して心は離すな」というものです。子どもの発達段階にもよりますが、小学校高学年から中学校の時期は少年期や青年期にあたります。すなわち、「手を離す」「目を離す」時期ということです。親の役目は、子どもを『自立』に向かわせていくことです。しかし、見ていられずつい手や口を出してしまったり、親としての心配はつきません。人は成功からではなく失敗から学びます。「かわいい子には旅をさせろ」ということわざもあるぐらいです。頭ではわかっていても実践することは容易ではありません。地域には、子育て中や子育てを終えた先輩方がたくさんおられます。

今年度も、四中校区の子どもたちのために四中花火フェスタや清掃活動(炊き出しあり)などのイベントが開催されました。地域教育協議会、各コミュニティ協議会、PTA、企業、ボラティアなど、本校区の「素敵な大人」たちの姿をみて子どもたちは健やかに育っています。一人でも多くの保護者の皆様にもご参加いただき、これらの取り組みを絶やすことなく次世代へ引き継いでいかれることを強く願っています。

枚方市立第四中学校 校長 鴨田 慎司

地域教育協議会とは？

学校・家庭・地域の総合的な教育力の再構築を図り、地域社会をあげてさまざまな取組を促進することにより、学校教育や地域における諸活動を活性化するとともに、豊かな人間関係づくりを通して、一人一人が自己実現できるよう支援し、子どもに「生きる力」を育むことを目的としています。



令和6年度の主な事業



今年度も校区の小学校の5,6年生も参加した「四中清掃大作戦」を実施しました。また、前年度に続いて、四中校区の各種地域団体が相互に連携・結束して、「四中花火フェスタ」を実施し、子どもたちに楽しい思い出と「夢・希望・元気」を届けました。

四中掃除大作戦

12月14日、生徒・校区3小の児童・保護者・地域・教職員等総勢約 200名で、四中の校内外の清掃活動を行いました。終了後、豚汁をふるまいました。



花火フェスタ

8月24日、第四中学校の地域教育協議会とPTA、山之上、五常、開成の各校区コミュニティ協議会による実行委員会を中心に、花火大会を行いました。



令和6年度役員

～地域の実情に応じた取組の継続と充実～

会長	鈴木 規夫	スポーツ部会	倉 洋子
副会長	西田 佳子	青少年部会	安藤 政子
副会長	中 作平	開成小 PTA 会長	鮫島 美来
副会長	谷内 康人	山之上小 PTA 会長	村上 拓
副会長	水口 絵梨奈	五常小 PTA 会長	高野 慎司
書記	池内 麻友子	事務局長(四中)	中村 拓実
会計	山本 貴志	事務局員	松浦 史明
会計	梶原 絵梨子	事務局員(四中)	井手 佑紀
学校代表(四中)	鴨田 慎司	書記(四中)	高橋 大輔

